

昨年開催の「第55回たけふ菊人形」第1景。NHK大河ドラマ「功名が辻」の山内一豊と千代をテーマとした豪華絢爛な菊人形展を開催

ここで、今月末に策定予定の総合計画では、「自立」と「協働」をまちづくりの基本理念に位置付けるとともに、本市の将来像を「国府の文化と匠の技、日野の山川に育まれ、ひとづくり、ものづくり、まちづくりの活力みなぎる『元気な自立都市

す。
旧武生市は、「古志の国」として早くから開け、大化の改新のころに越前の国府が置かれてから、北陸地方の政治、経済の中心地として栄えました。また、平安時代には「源氏物語」の作者である紫式部が、越前の国守となった父と武生で一年余りを暮らし、「源氏物語」の中で「武生の国府」と記してい

ます。さらに、伝統産業である越前打刃物は約七百年の歴史を有し、旧武生の産業を支えてきました。一方、旧今立町は、日本に紙が伝えられたといわれる六、七世紀ごろには既に紙をすいていたと記した越前和紙が保管されています。また、明治の初期ごろまでには奉書紙や奉書紬の産地として確立し、約千五百年の伝統を誇る越前和紙の里として、手すき和紙では日本一のシェアを誇っています。このように長く受け継がれてきた伝統産業に加え、近年では半導体や電子部品などの先端産業も盛んとなり、県内第一の産業都市として発展を続けています。

はじめに
越前市は、平成十七年十月一日に旧武生市と旧今立町との新設合併により誕生しました。福井県のほぼ中央に位置し、周囲を四〇〇から七〇〇メートル級の山々に囲まれた人口約八万八千人、面積二三〇・七五平方キロメートルを有するまちで

「元気な自立都市 越前」を目指して

越前市 (福井県)

越前市長 奈良俊幸

Talk on my City

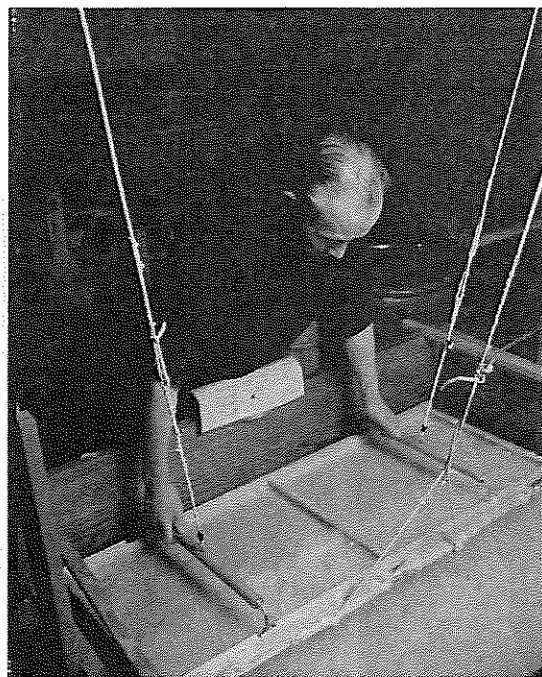
わが市を語る

「わが市を語る」は全国市長会のホームページにおいても掲載しています。
URLは、<http://www.mayors.or.jp/>

「越前」をしたいと考えています。そして、この将来像の実現に向け、五つの柱からなるまちづくりの施策を強力に推進してまいります。

元気な産業づくり

地方が自立するためには、産業の振興が極めて重要です。本市では、昨年一月に企業立地促進補助金の制度を拡充し、企業の設備投資を誘引して



人間国宝・岩野市兵衛氏による越前和紙の手すき。越前和紙は国の伝統工芸品にも指定されている

きましたが、その結果、当該補助金の認定件数は一年間で十件を数え、新たな雇員が五百人以上生まれる見通しとなっています。この雇用拡大を定住化促進につなげるとともに、将来の地域経済の発展に結び付けることが、本市の自立性確保の鍵になると考えています。また、本年度で五十六回目を迎える「たけふ菊人形」は、北陸の秋を彩る風物詩であり、本市の観光の柱として定着しています。今後は、越前打刃物や越前和紙など伝統産業の観光資源にも磨きをかけるとともに、まちなかの魅力を生かした観光にも力を注いでまいります。

元気な人づくり

本市では、乳幼児から高齢者まで誰もが健やかに暮らし、生涯を通して学び、能力を発揮できるまちづくりを推進しており、保護者の多様な就労状況に対応した延長保育や休日保育、地域の特性に合わせた子ども教室や学童保育を実施しています。また、ものづくりに対する子どもたちの関心を深めるため、創造アイデアロボットコンテストを

開催するなど、子どもたちの創造性を高めるための取り組みも展開しています。さらに、昨年末には、教育の基本的な考え方を示す「教育方針」を策定しました。明日の本市を担う人間育成の指針として、本方針を踏まえた人づくりの具体的な推進を図ってまいりますと考えています。

快適で住みよいまちづくり

社会の大きな転換期を迎え、量的な充足を主眼とした都市づくりから、豊かさが実感できる質の高い都市空間の形成、環境保全のシステムの確立へとといった方向性の転換が求められています。本市では、魅力あるまちづくりを推進するため、「まちなか居住の促進」や「まちなか観光の推進」などを柱とした中心市街地活性化プランの本年度末策定を目指すとともに、越前市らしい個性で潤いのある景観づくりを推進しています。また、環境省の里地里山保全再生モデル事業に選定された本市西部地域においては、小中学校での環境教育の推進や希少野生生物の調査など、地元住民との連携により里地里山保全のための地域戦略を策定しています。本市では、こうした手作りの市民参

加型環境保全活動を積極的に支援しています。

安全で安心なまちづくり

平成十六年七月の「福井豪雨」は、本市にも多大な被害をもたらしました。道路・橋梁などの社会資本や電気・水道などのライフライン、農地や家屋などの個人資産は言うに及ばず、大切な人命をも失ったことは、記憶に新しいところです。そこで、本市では、災害に強いまちづくりを推進するため、昨年度に地域防災計画を改定しました。市民が安心して暮らすことのできるまちを目指し、避難場所の確保などを進めるとともに、自主防災組織の育成を図り、地域防災力の強化に力を注いでいます。また、登下校時の子どもたちの安全確保を図るため、緊急メールの一斉配信システムを整備するなど、安全・安心なまちづくりを推進しています。

市民が主役のまちづくり

本市では、旧武生市時代の平成十六年度から地域自治振興事業に取り組んでいます。「地域でできることは地域で」を基本理念に、地域住民の自主

的な活動によるまちづくりを推進しています。昨年五月には、田今立町の四地区でも自治組織が立ち上がり、市内全十七地区で地域自治振興事業が本格的にスタートしました。さまざまな立場の人が相互に理解、尊重し合いながら、ふるさと越前市の未来を築くため、地域自治の一層の推進と市政への市民の参画を図り、市民が主役のまちづくりを進めてまいります。

むすびに

地方分権が進む一方で、国や県からの財政支援が先細る時代を迎えていることから、私は、精神的・経済的・財政的に自立した都市を市民との協働で実現することを目指し、市民の目線に立った行政運営を心掛け、職員には現地現場主義の徹底を求めています。

今後、越前市の将来に大きな夢を描き、元氣な自立都市の実現に向けて、市民と協働しながら市政運営に取り組んでまいります決意です。